貴社の注力事業において社会に新たな価値を創出したいと考え、上記を選択した。その上で楽天市場を選んだ理由は、カンパニー問わず活躍する人材になるためには、その中心事業で価値提供できるようになることが欠かせないと考えたからだ。貴社のビジネスモデルである「楽天経済圏」並びにその根幹である楽天市場の知見を有しているからこそ、「楽天経済圏の一部」としての新規事業を推進できると考えた。次にペイメント事業、並びにコミュニケーションズ&エナジーカンパニーを選んだ理由は、社会全体に変革をもたらす領域であり、現在正に貴社が注力しているからだ。変化が激しいこれら２つの領域では、自身の成長によって生み出すことの出来る価値も大きい。キャリアカンファレンスを通して事業のスケールの大きさに感銘し、その一員として社会に新たな価値を創出したいと考えた。以上の理由から３つの事業を選択した。

**私はコーマスカンパニー全ての事業を選んだ理由は、人々の生活をより楽しく便利にする様々なインターネットサービスの創出に携わりたいからです。インターネットで買い物することに慣れてきた私が初めて日本に来た時非常に不便を感じたていました。ある日、偶然楽天市場を利用し、そこで中国のECサイトに遜色ない便利さを感じて今はもう自分の生活に離れられない存在になっています。貴社は国内外1億超えの会員を保有し、それを軸として展開しているEコーマス事業はまだ大きいな可能性があると信じいるため、「楽天タクシー」というAIによる配車サービスを作りたいです。貴社のビッグデータや楽天モバイル、楽天Payなどのサービスと連携したら、きっと日本のタクシー配車マーケットの大部分を占められると思います。以上の理由から私はコーマスカンパニー全ての事業に興味を持ちました。**

二つあります。一つ目は、イノベーションをもたらして新たな価値を創出することで、社会の暮らしを豊かで便利にしたいからです。私は百貨店の免税スタッフとして、「手計算よりExcelの活用に転換する」というイノベーションを起こし、従来一回つき5分以上かかる手計算問題を10秒以内に解決できるExcelFileを作ることで、バイト先の自動免税機お釣り枚数補充業務を効率化し、そして社員さんに感謝の言葉や手紙を頂いたことから、この思いを持つようになった。貴社が常に革新的なサービスを生み出すことで、人々と社会をエンパワーメントするというミッションは私と合致していると感じています。二つ目は、貴社のDiversityな環境で、私の強み課題を解決する主体性を生かして幅広い事業にチャレンジしたいからです。多種多様な事業を行っておりかつチャレンジングな風土を保っている貴社でなら私の思いを実現できると信じています。

バイト先の社員達と共に百貨店外国人観光客の集客に効果的な施策を提案し、売り上げが伸びた経験があります。当時、百貨店は観光客の来店客数が減少している課題に直面しました。その原因を探すため、私は同僚と一緒にお客様にヒアリングをし、またネットで百貨店のインバウンド政策の論文を調べました。調査結果の共有より、私は競合他社と比べて外国人には知名度が低いこと、また外国人観光客に対するサービスは他社よりまだ不完備と原因だと指摘しました。そこで、来店客数を増やすべく、私は主に二つの方向から考えました。一つ目は一人あたりの来店回数を増やすことです。それに対しては期間限定ガラガラ抽選会の開催を提案しました。二つ目は知名度を上げて新規顧客を開拓することです。ここでは、影響力のあるソーシャルメディアに広告配信することを提案しました。サービス改善に関しては中国語講座などの開設を提案しました。それらの施策を採用した結果、外国人の来店客数は去年同月より一日平均100客増えました。

また大学二年次学園祭の時、私は焼きそば屋台の出店を担当しました。しかし、売り点としての特製ソースは店舗で販売されず、ネットで購入すると間に合わない恐れがありました。そこで私は製造会社に電話で交渉し、直接に製造会社のオフィスまで行ってソースを購入しました。それで、メンバー達との信頼関係を構築でき、売り上げナンバーワンを獲得しました

私の就職活動の軸は二つあります。一つ目は、新しいサービスを提供することで、人々の生活や社会の暮らしを豊かで便利にすることです。これは私がExcelを活用することで、バイト先の自動免税機お釣り枚数補充業務を効率化し、そして社員さんに感謝の言葉や手紙を頂いたことから、この思いを持つようになった。二つ目は、幅広い事業にチャレンジすることです。私はバイト先の百貨店で毎日ほぼ同じのことをして過ごしていたため、頭が鈍くなって、視野も狭くなりつつありました。そのような環境で仕事すると創造力がなくなる恐れがあるため、若いうちにできるだけ多くの事業にチャレンジしたくりました。これら二つの軸を満たす職場でなら熱意を持って働いていけると考えています。